

～釜石市の未来を共に創造する～

釜石
市民ワーキンググループ^پ

2015年 7月20日 (月)

釜石大槌地域産業育成センター

チェックイン

「今の正直な気持ち」や
「気になっていること」などを
ありのままにお話しください。



チェックインのルール

□順番を決めないで、話したいと思った人から始めます

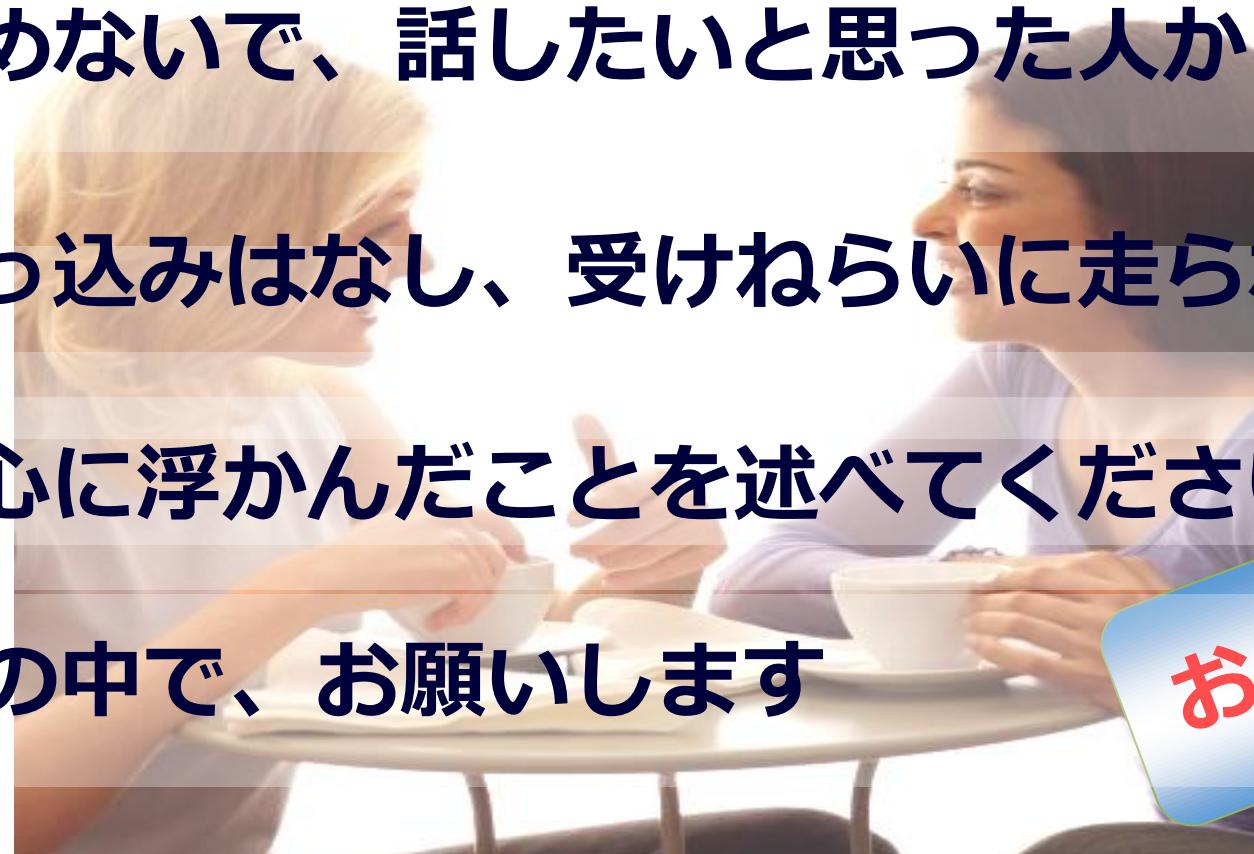
□質問や突っ込みはなし、受けねらいに走らない

□素直に、心に浮かんだことを述べてください

□拍手は心の中で、お願いします

お一人1分程度で

終わったら、両手を挙げて周りに知らせてください



～釜石市の未来を共に創造する～

釜石市民ワーキンググループ

オープニング

～13：40（40分）

まずはこちらの動画を
ご覧ください

[http://nettv.gov-
online.go.jp/prg/prg11250.html](http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg11250.html)

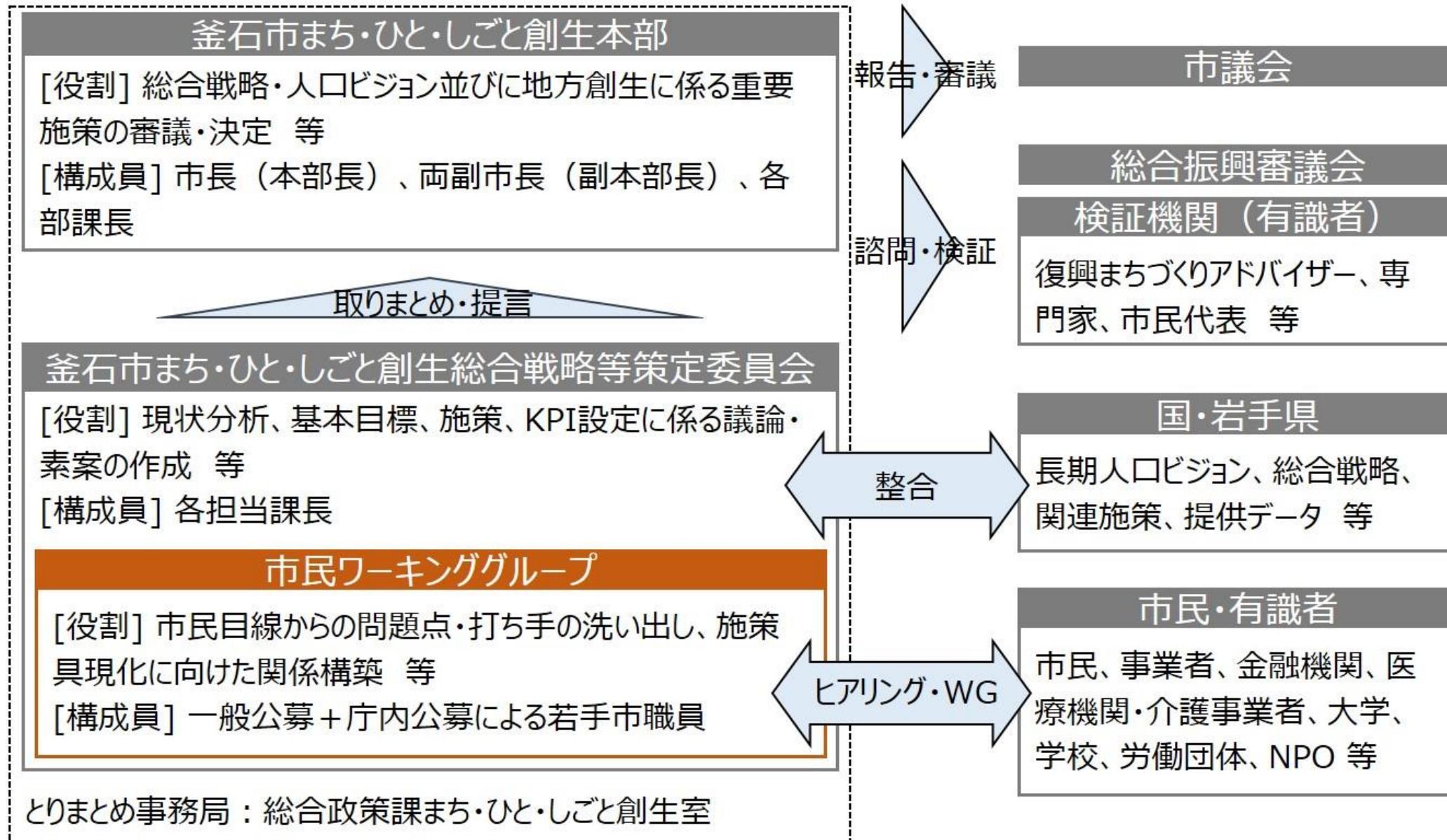
総合戦略・人口ビジョンの中で 明らかにしたいこと

- これまでどのような要因で人が減ってきたのか？
- 将来どのように減っていくのか？減るとどうなるのか？
- 25年後の釜石のありたい姿から逆算し、今すべきことは何か？
- 上記を踏まえ、行政・企業・市民の役割はどうあるべきか？

釜石市総合戦略・人口ビジョンの 策定スケジュール（全体）

4月1日	釜石市まち・ひと・しごと創生本部会議の設置
5月～	市民ワーキンググループ、個別インタビュー、有識者ヒアリング、庁内協議など
10月	釜石市総合戦略・人口ビジョン原案をとりまとめ
11月～	市民協働による総合戦略の具現化（熟議） 原案で示した注力すべき施策テーマについて、市民協働により アクションプランの具現化や関係者調整／体制構築などを実施
3月	釜石市版総合戦略・人口ビジョンの策定

釜石市総合戦略の策定体制



市民WGの位置づけ①

釜石の「総合戦略」策定において

市民目線からの
問題点の洗い出しと
打ち手アイディアを

市策定委員会に提言する組織

市民WGの位置づけ②

市民WGを通して

志の高い
市民と若手職員との間で
協働の機運を

醸成していく場

市民WGの進め方（7～8月）

第1回 7/20 (13:00～16:30)

…25年後の釜石のありたい姿を共有し、チームを構成する

第2回 8/1 (9:30～13:00)

…ありたい姿を実現するために、やるべきこと（打ち手）を洗い出す

第3回 8/23 (13:00～16:30)

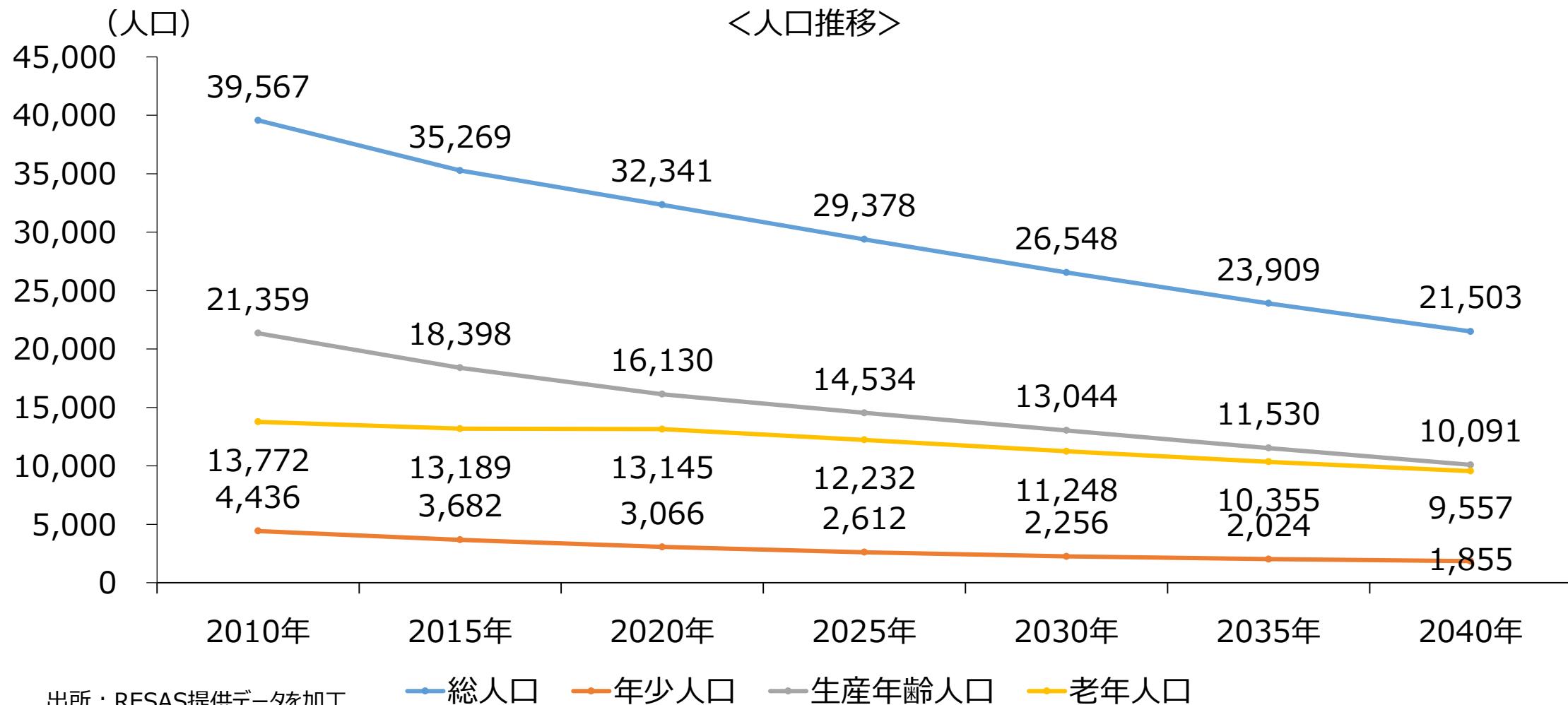
…打ち手の具現化や重みづけをおこなう

※各回ともオブザーブ参加可、facebookグループ（メール）にて情報共有＆アイデア出しを実施

このままいけば2040年に釜石の人口は約半分に

・2040年の総人口は2010年の約半分となり、そのうち66歳以上が全体の46%を示す

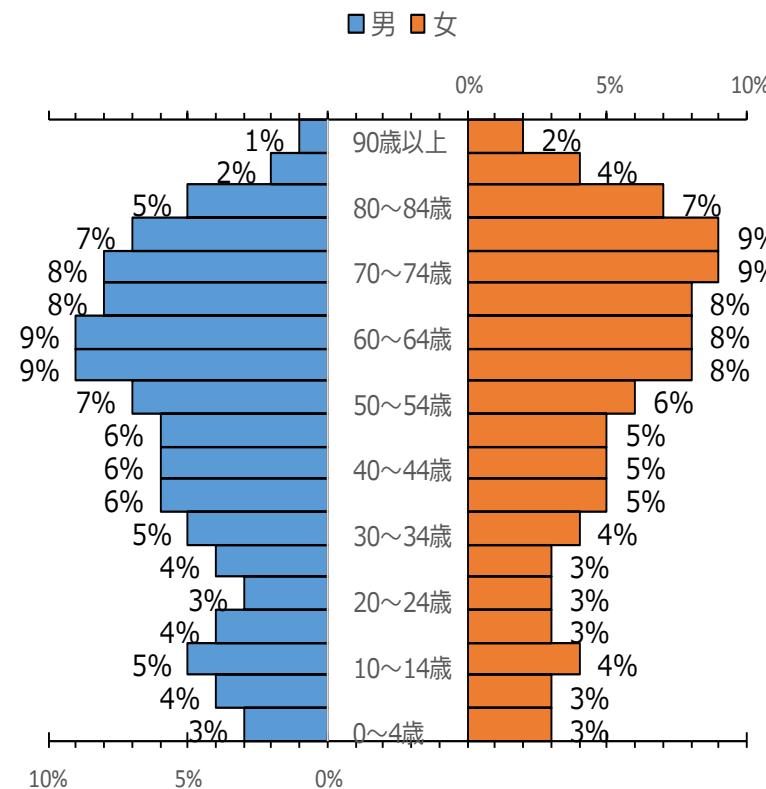
※ 年少人口（～14歳） 生産年齢人口（15～64歳） 老年人口（65～歳）



このままいけば2040年には「逆ピラミッド型」に

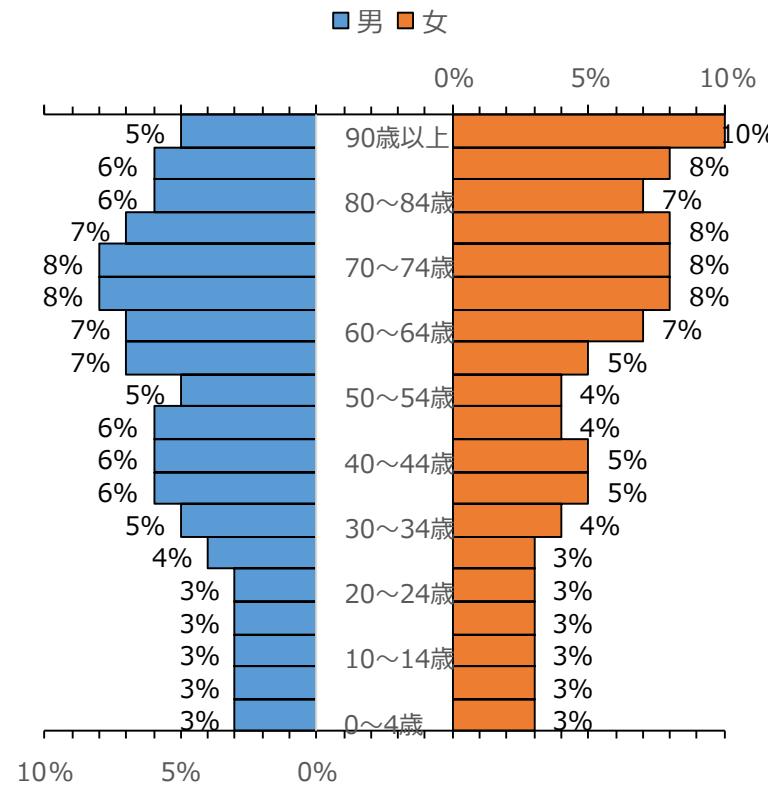
- 2040年には、「90歳以上女性」がもっとも大きいセグメントになる

2010年 人口ピラミッド



老齢人口（65歳以上）：13,772人（34%）
生産年齢人口（15～64歳）：21,359人（53%）
年少人口（0～14歳）：4,436人（11%）

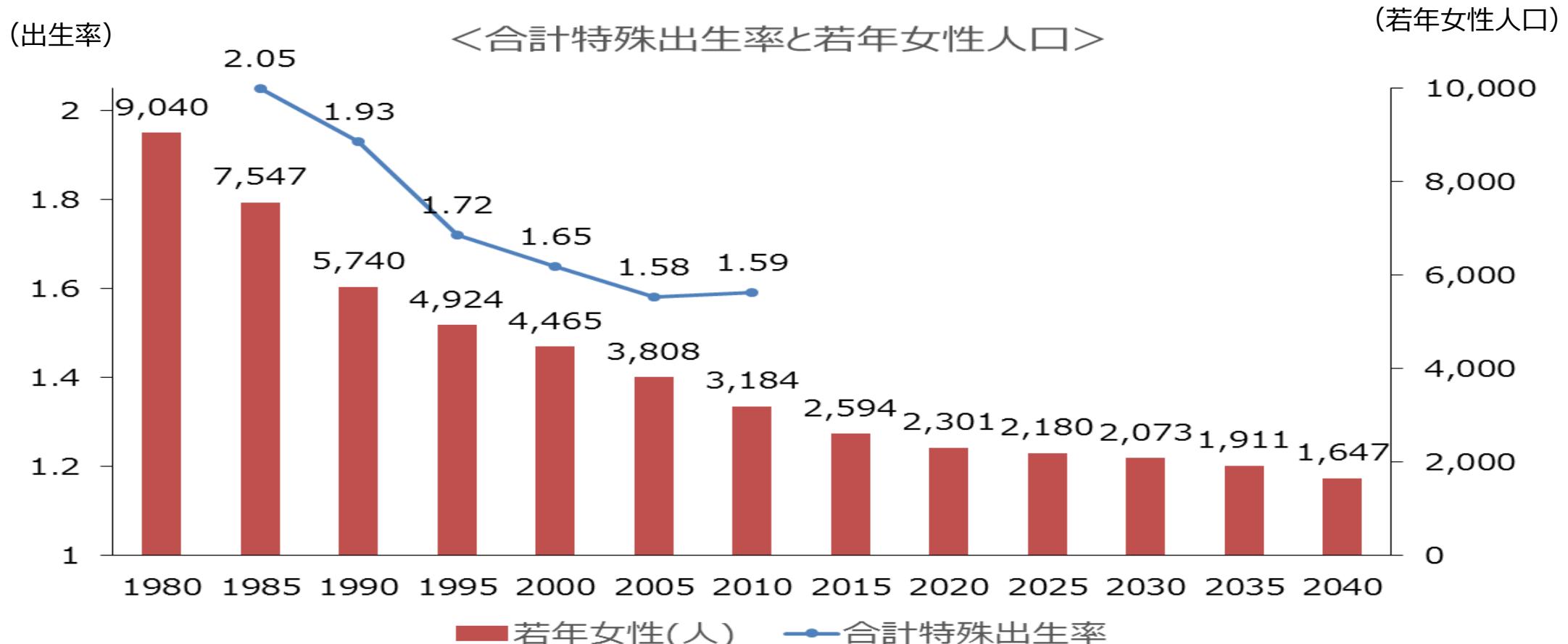
2040年 人口ピラミッド



老齢人口（65歳以上）：9,557人（44%）
生産年齢人口（15～64歳）：10,091人（46%）
年少人口（0～14歳）：1,855人（8%）

出生率は全国・県内と比較して高く、問題は若年女性数の大幅な減少

- ・ 若年女性：20歳から39歳の女性(出産女性年齢の約9割) ※出典：朝日新聞
- ・ 合計特殊出生率：一人の女性が一生に産む子供の平均数 ※2012年の合計特出生率は1.79



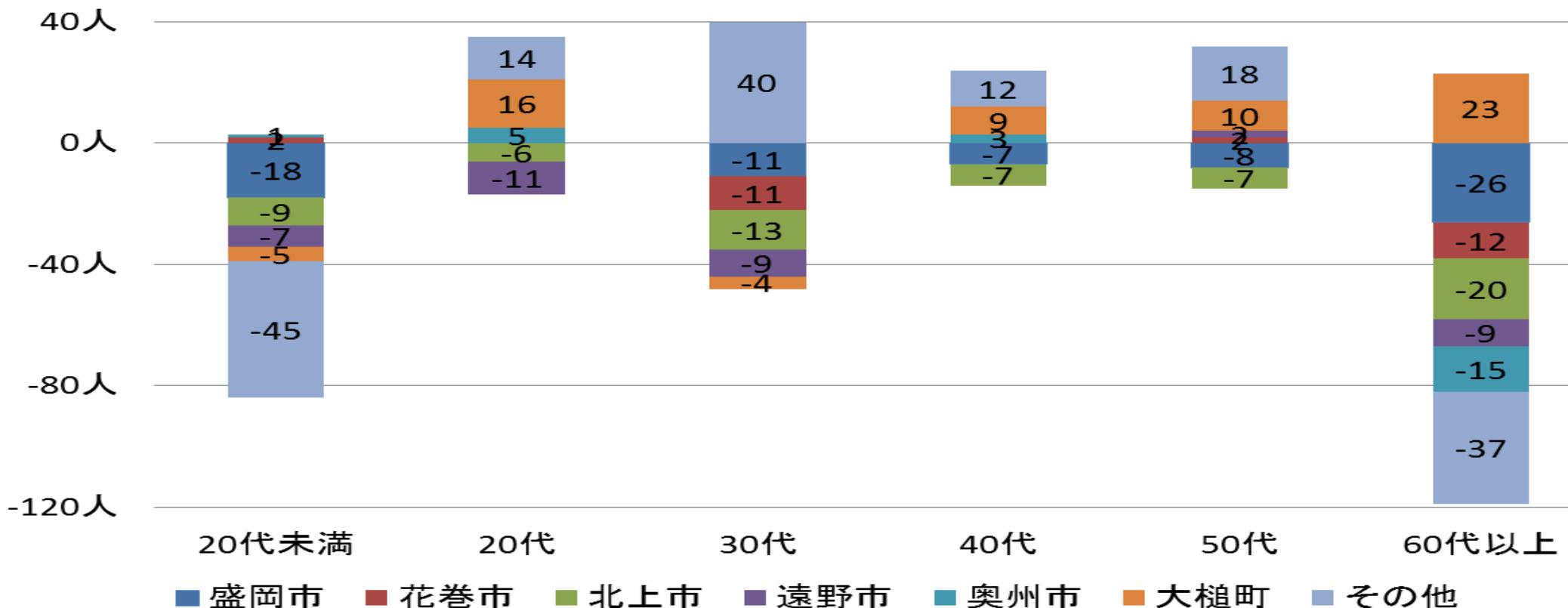
出所：総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

※2010年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値

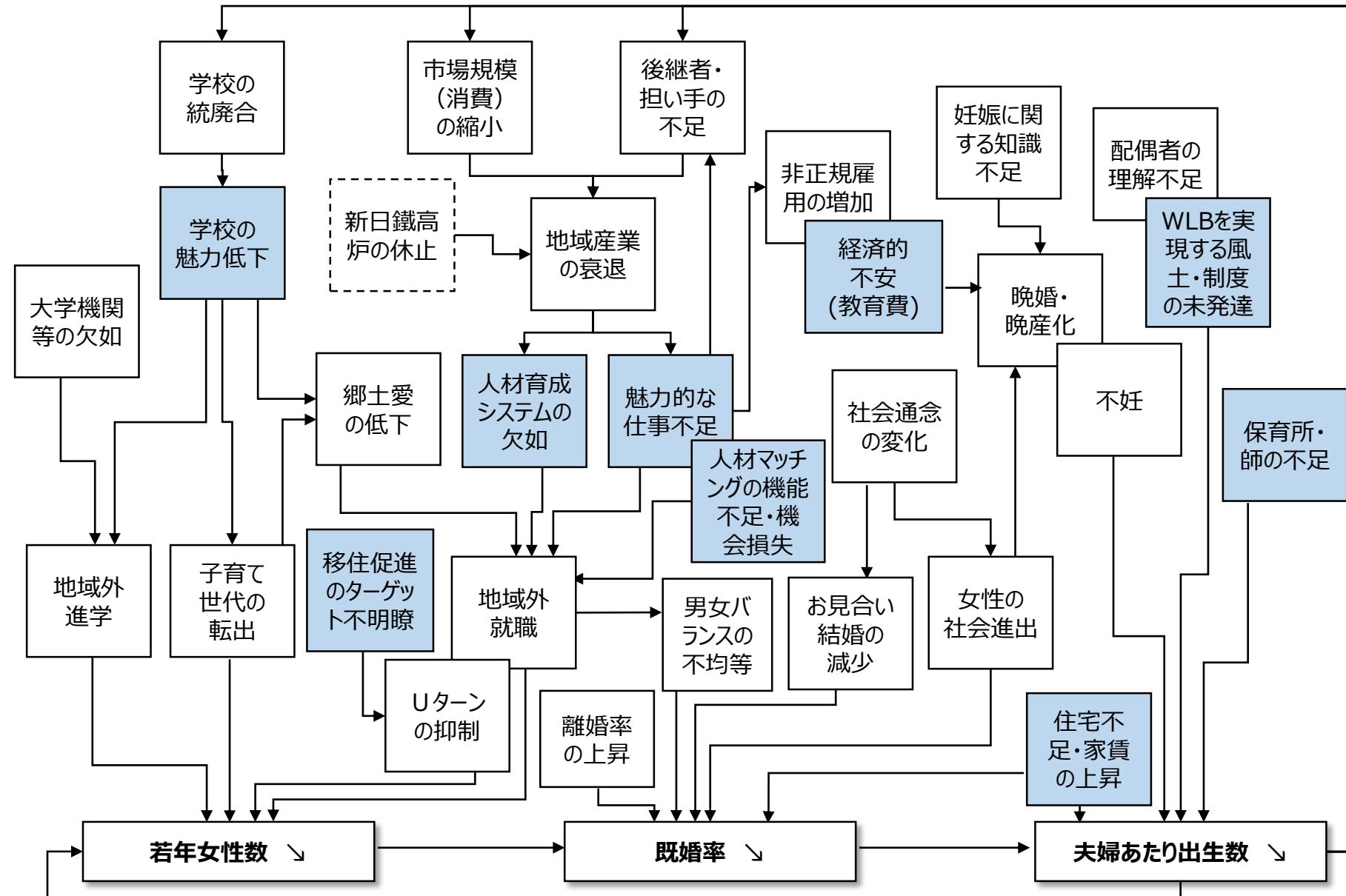
2014年、20代未満と60代以上で転出超過

- 20代未満は多くの地域で転出超過。60代以上も大槌町を除いた多くの地域で転出超過。
- 20代、40代、50代は、その他地域を除いても転入超過またはそれに近いが、30代はその他地域を除くと転出超過。

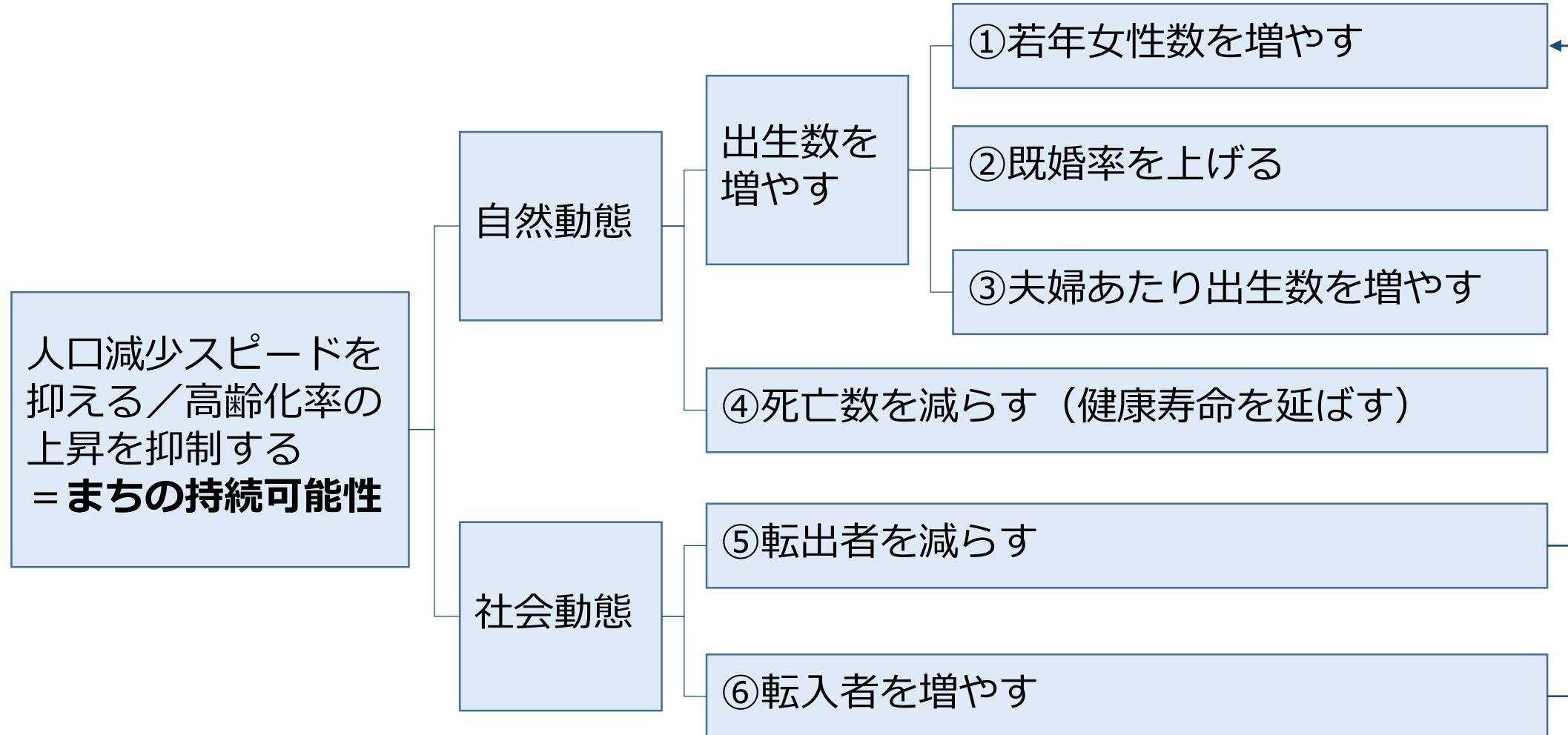
転出入超過数(市町村別・年齢階級別)



なぜ人が減るのか？（現状理解）



施策を考える上での基本的な考え方

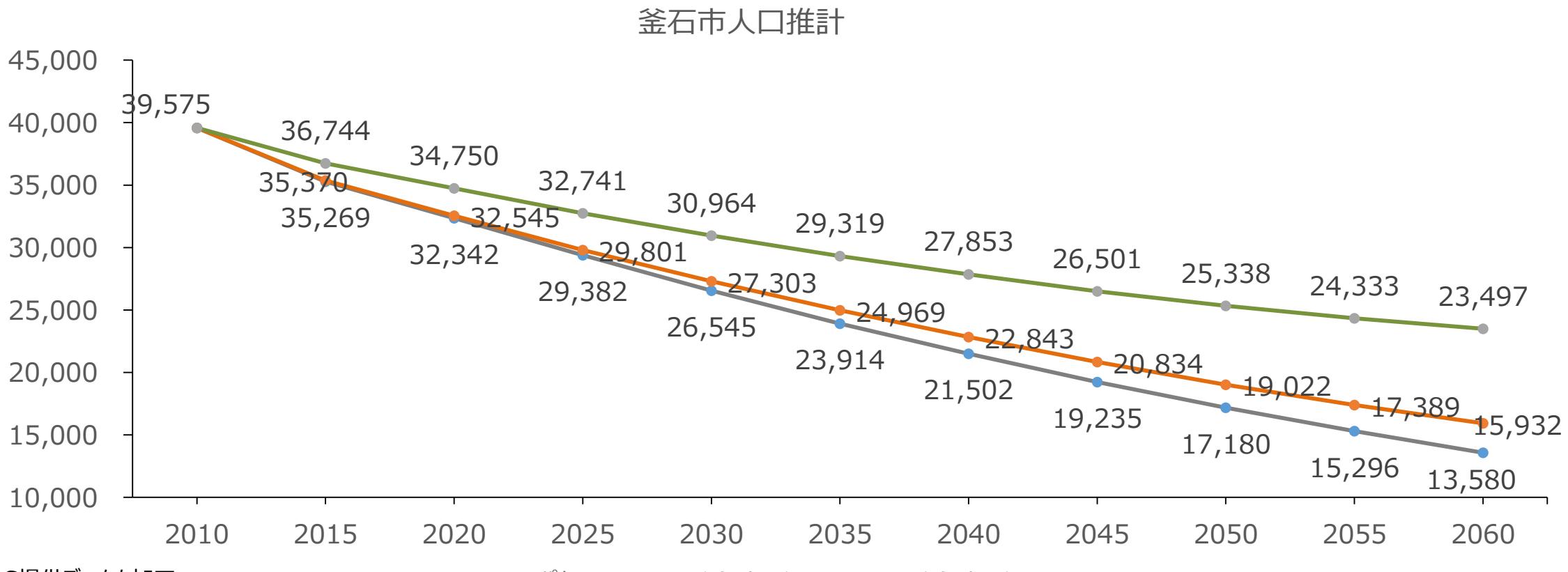


出生率向上／社会減の抑制を図ることで 人口減少をなだらかに

パターン1：国立社会保障・人口問題研究所推計

シミュレーション1：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇した場合

シミュレーション2：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした（移動がゼロとなった）場合のシミュレーション。



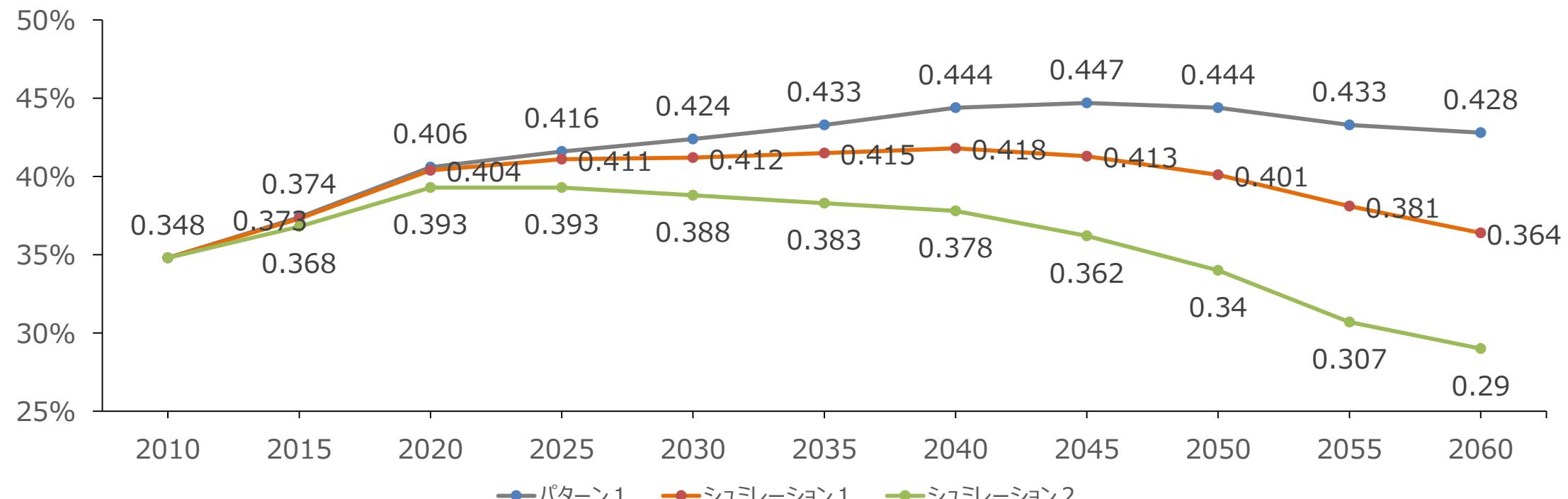
シミュレーションによって、 釜石市が「若返る」タイミングに明確な差異

パターン1：国立社会保障・人口問題研究所推計

シミュレーション1：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇した場合

シミュレーション2：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした（移動がゼロとなった）場合のシミュレーション。

釜石市高齢化率推計



～釜石市の未来を共に創造する～

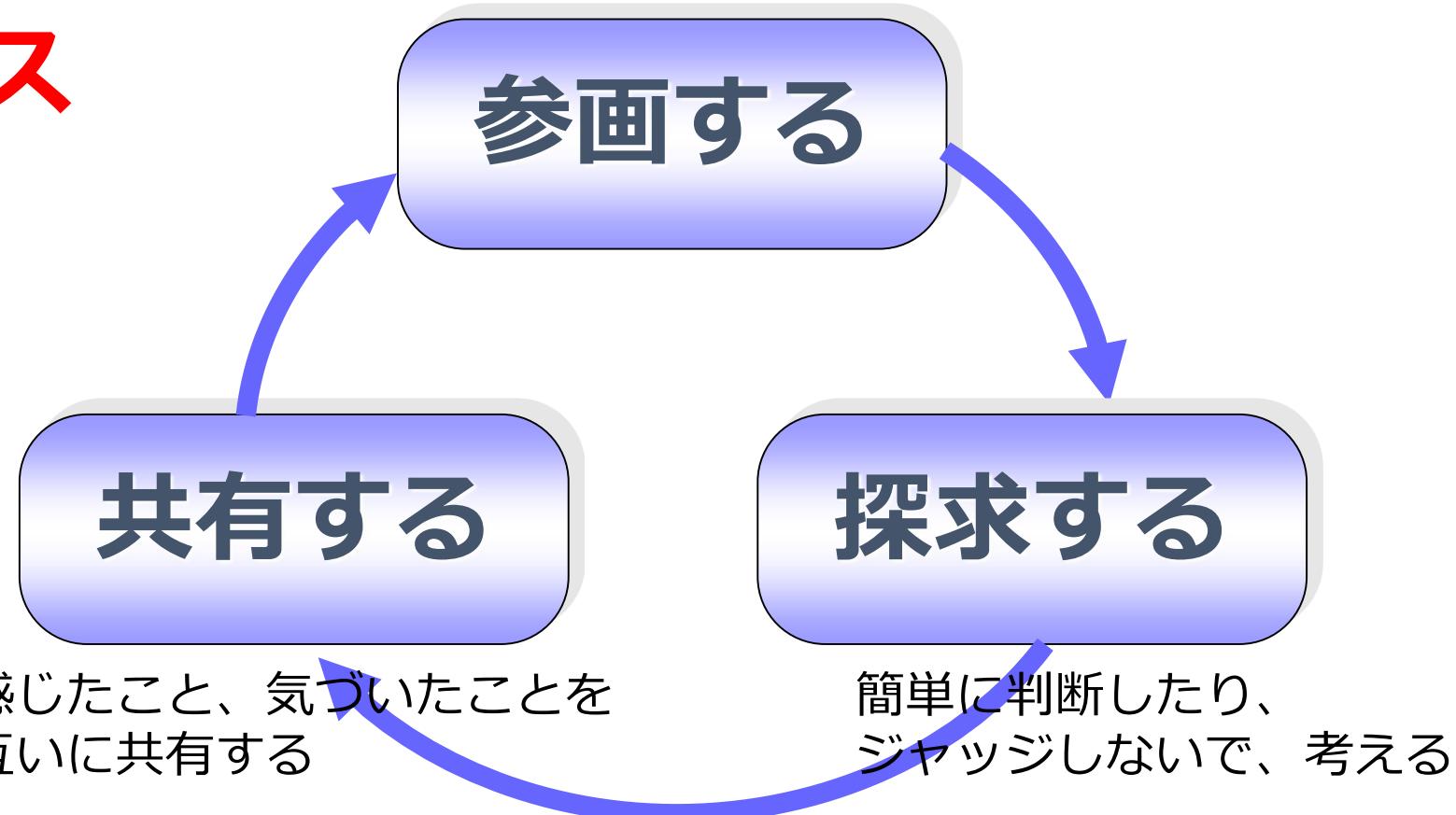
釜石市民ワーキンググループ

“ありたい姿”を考える

13：40～14：25（45分）

本日のワークの進め方①

本日のワークの スタンス



本日のワークの進め方②

本日のワークのルール

①対等で自由な立場で参加する

肩書きや権威を持ち出さない

②自分の考えにこだわらない

断定的な言い方をしない

③自分の考え方や背景をオープンにする

思っていることを率直に述べる

④人の意見の背景を理解しようとする

相手の話の善し悪しをジャッジするように聞くのではなく、探究する姿勢で聞く

本日のワークの進め方③

決めつけない、否定しない、遠慮しない、
思いを巡らせる、話してみる、聴いてみる

今日は、いつものM t gと
一味違う時間を過ごしましょう

それでは本日のワークを
始めていきます

最初に

インタビューをするペアをつくります

- ・同じテーブルの4人で2ペアつくります
- ・普段あまり話したことのない人でペアの方が
新たな発見が多いのでおすすめです
- ・公募いただいた市民の人と市役所職員とのペアも
同じく新たな発見、気づきが多いのでおすすめです

進め方

**インタビューを通して釜石の「魅力・特徴」
を知り釜石の“ありたい姿”を考えます**

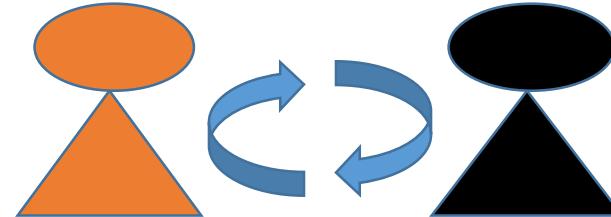
- ① 3. の質問文の選んだテーマを○で囲んでください。
- ② 4人の中から 2 人 1 組になります。 (市民と市職員)
- ③ 1 名がインタビュー役。もう 1 名が答える人です。

※最初は市職員がインタビュー役、市民が答える人で進めていきます。

- ④ インタビューシートを使って進めます。
- ⑤ 場所は、ご自由にお決めください。

進め方

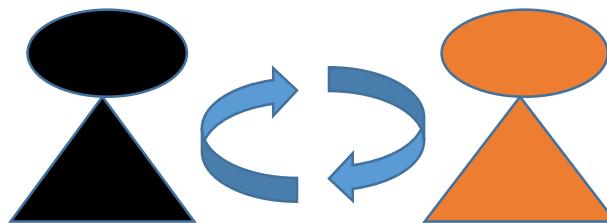
インタビューを
する人



「1. オープニング&魅力、特徴」から

- ・シートに記入されている質問文を省略せず最後まで、読み上げてください。
(交代してからも同じように質問文を、最後まで読み上げてください)
- ・ポイントやキーワードをシートにメモしておいてください。
- ・あとで、インタビュー役から、語り直しをしていただきます。

進め方



インタビューを
受ける人

- ・リラックスして、そのシーンを思い浮かべながらお話ください。

**14:25までに
席にお戻りください**

14:35スタート

席に座つて
お待ちください

～釜石市の未来を共に創造する～

釜石市民ワーキンググループ

“ありたい姿”の語り直し

14：35～15：00（25分）

語り直し の進め方

■ インタビューの語り直し

- ・ インタビューをした方が、伺った方の話をみなさんに語りなおします
- ・ 語り直しはグループ4人で行います
- ・ 他の方はシートを裏返し、耳を傾ける
- ・ 聞いている方は、口を出しません
- ・ 聞いている方は、3.~5. の内容で「共感」したことを
ポストイットにメモをしてください
(この後のワークで使用します)

1人3~4分
15:00まで



「共感」したポストイットの書き方

3. 25年後の釜石はそのテーマで、どんな人や組織が、何をしていますか？



○○（人、組織）が
◇◇（何を）している

4. 思い描いた釜石の実現のため、どんな仕組・制度・環境があればいいですか？



○○○（どんな）
仕組、制度、環境
があればいい

5. 思い描いた釜石の実現のために、市民として何ができると思いますか？



市民として
○○ができる

～釜石市の未来を共に創造する～

釜石市民ワーキンググループ

“ありたい姿”の共有

15：05～16：15（70分）

ワークの進め方（チーム編成）

同じテーマのチームで集まります

(教育、結婚出産子育て、医療福祉、仕事、移住促進)

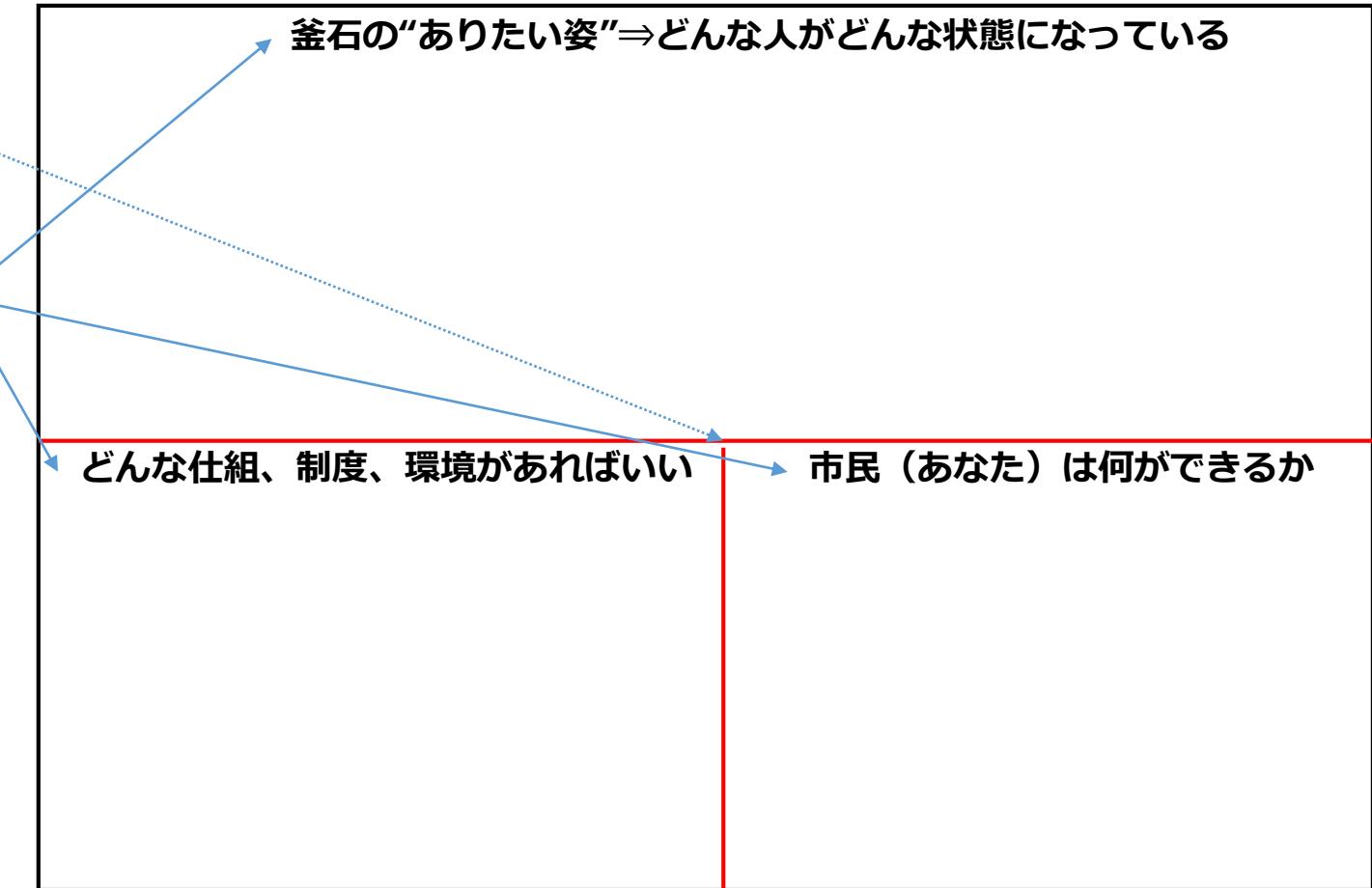
1チーム8人以下で編成します

(チームの分け方は事務局よりお伝えします)

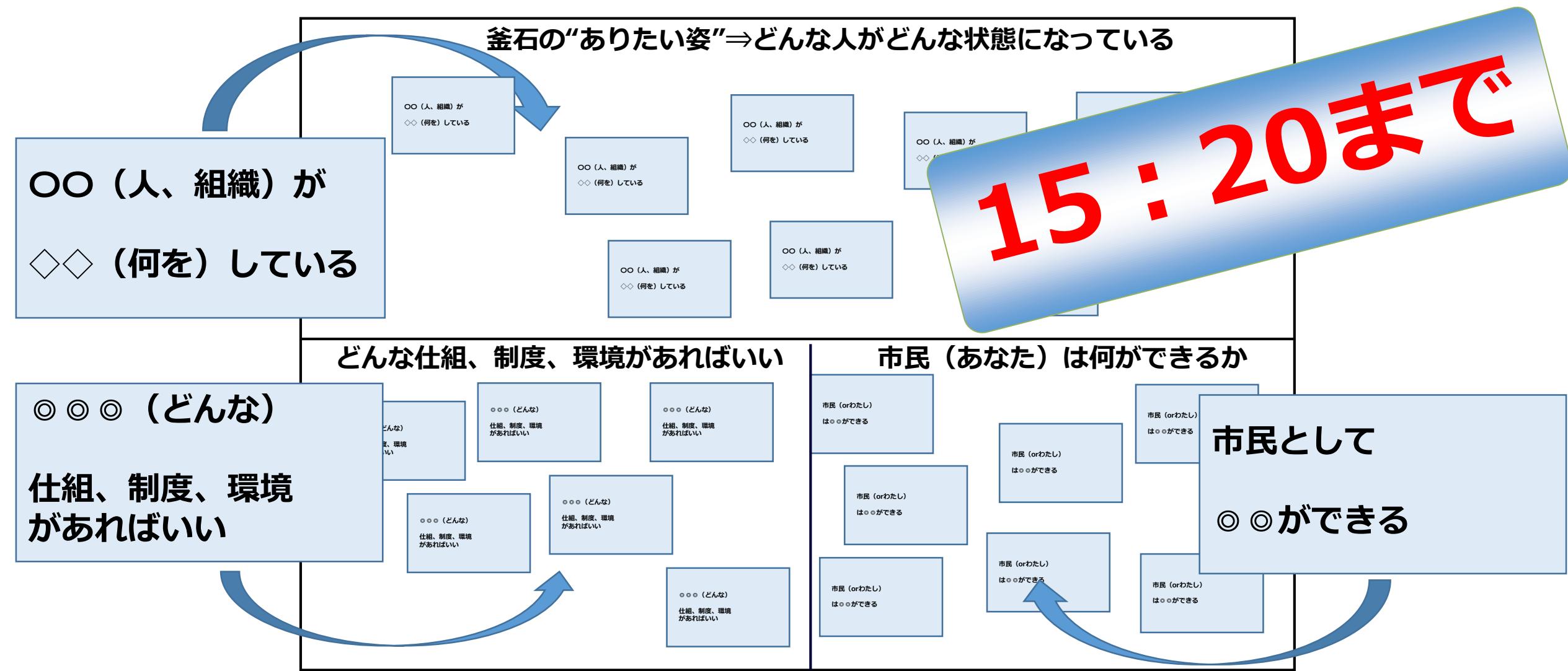
模造紙への線と文字の入れ方

① T字に線を入れる

② インタビューシートの
3.～5. の設問を入れる



ポストイットの模造紙への貼り方



背景や理由を一言加えて、模造紙に貼ってください

新しいアイディアの共有①

皆さんのアイディアを聞いて、新たに浮かんできた
アイディア（ありたい姿、仕組・制度・環境、何ができるか）
を新たに書き加え、追加で模造紙に貼ってください
その上でポストイットを模造紙に貼っていくワークを通して
感じたことをチームで共有、考えを深めていきます

15：45まで

- ①対等で自由な立場で参加する
肩書きや権威を持ち出さない
- ②自分の考えにこだわらない
断定的な言い方をしない
- ③自分の考えや背景をオープンにする
思っていることを率直に述べる
- ④人の意見の背景を理解しようとする
相手の話の善し悪しをジャッジするように聞く
のではなく、探究する姿勢で聞く

グルーピング

模造紙に貼られたポストイットの中

【仕組、制度、環境】について、

同じもの、似た括りなどでグルーピングする

15:55まで

釜石の“ありたい姿”⇒どんな人がどんな状態になっている

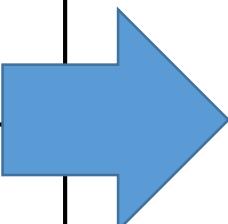
どんな仕組、制度、環境があればいい

○○○（ど
仕組、制度、
環境
があればいい

○○○（ど
仕組、制度、
環境
があればいい

○○○（ど
仕組、制度、
環境
があればいい

市民（あなた）は何ができるか



釜石の“ありたい姿”⇒どんな人がどんな状態になっている

どんな仕組、制度、環境があればいい

○○○（ど
仕組、制度、
環境
があればいい

○○○（ど
仕組、制度、
環境
があればいい

○○○（ど
仕組、制度、
環境
があればいい

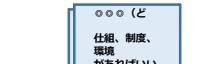
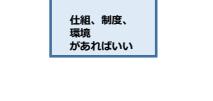
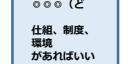
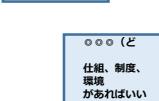
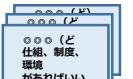
市民（あなた）は何ができるか

重みづけ

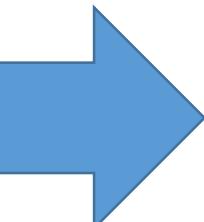
【仕組、制度、環境】のグルーピングしたポストイットに
特に大切、これはやった方がいいと思ったものに
1人3つまでシールを張る

釜石の“ありたい姿”⇒どんな人がどんな状態になっている

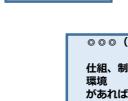
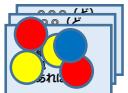
どんな仕組、制度、環境があればいい



市民（あなた）は何ができるか



どんな仕組、制度、環境があればいい



16:00まで

市民（あなた）は何ができるか

“ありたい姿”の全体共有

各チームでの本日の話し合った内容を全体共有
(1チーム3分×6チーム)



16:15まで

次回までのお願ひ

- ・次回の議論の参考にするため

本日同様のインタビューを、
ご家族やご友人にしてきてください。
(1人以上、シートは次回ご持参ください)

チェックアウト

「釜石市民ワーキンググループ」を終えた

「いまの率直な気持ち・想い」をお話しください

